



今できること
プロジェクト
2023-2024
再生と伝承

中学生に
託す伝承の
バトン

震災伝承新聞被災地取材レポート②

仙台白百合学園中学校→石巻市雄勝町

中学生記者が復興の現場へ

将来の大災害に備える教訓の若き担い手である中学生たちが、宮城県内の被災地取材し、その成果を「震災伝承新聞」として来年2月に発行。宮城県内外の中学校や災害伝承施設へ配布する予定です。今年度で4回目を数えるこの取り組み。今回も3校が参加し、仙台白百合学園中学校の7人は石巻市雄勝町を訪問しました。



語り部の佐藤美千代さんと中学生記者たち

自分自身で見て、伝え、備える。



← 防災無線の拡声器は雄勝病院を襲った16メートルの津波と同じ高さ

現地で感じたことを同世代に伝えるために

取材に先立ち、河北新報社の記者経験者が取材のノウハウや東日本大震災における石巻市雄勝町の被害状況を説明するオリエンテーションを実施しました。

9月30日、仙台白百合学園中の3年生5人と2年生2人は小島漁港でホタテ漁師の佐藤一（はじめ）さんの漁船で甘味とうま味で定評ある雄勝産ホタテの養殖現場を見学しました。佐藤さんは、耳つり式の垂下ロープを引き上げ、量より質を優先する養殖の仕組みを説明。そして、震災直後の被害状況と養殖再開までの道のり、今後の展望について詳しく話を聞くことができました。

次に訪れたのは、「道の駅 硯上の里おがつ」敷地内にある「雄勝硯伝統産業会館」。雄勝硯と雄勝石加工品のギャラリー、展示室を見学後、雄勝硯生産販売協同組合の徳



佐藤一さんの漁船でホタテ養殖見学

水辰博（とくみずたつひろ）さんらの指導で、雄勝石を使ったコースター作りにチャレンジしました。自然石に鉛筆で作りたい形の輪郭を描き、粗く削り出した後、紙ヤスリで研磨。徳水さんが表面に仕上げを施した後、完成品を受け取りました。

昼食後、津波にのまれながら生還した語り部の佐藤美千代さんから八百屋再開までの苦勞、震災前の4分の1に人口が減った地元に対する思いを聞きました。「雄勝地区震災慰霊公園」では雄勝病院犠牲者慰霊碑に献花。入院患者40人と職員26人が犠牲となった雄勝病院に地震発生時居合わせた雄勝町渚泊推進協議会代表、阿部久良さんから



雄勝石クラフト体験に挑戦

当時の状況を聞き、歩行が困難な入院患者を助けようとして犠牲となった鈴木孝壽副院長のご遺族にも後日取材を行い、より理解を深める機会を得ることができました。



地震発生時の様子を語る阿部久良さん

現在、中学生記者たちが取材を振り返りながら、2月発行予定の特集紙面の制作に奮闘中です！

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI/アサヒビール 東北統括本部/石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校/岩手日日新聞社/NTTデータ東北/キリンビール 東北統括本部/ケーズデンキグループ・デンコードー/劇団四季/光輝ビルテクノス/神戸製鋼所東北支店/サッポロビール/サントリー 東北営業本部
JTB 仙台支店/住友不動産 東北事業所/生命保険協会 宮城県協会/仙台環境開発/DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐助/東伸環境/日本製紙/日本製紙クレシア/日本損害保険協会/日本郵便 東北支社/野村不動産 仙台支店/東日本油化工業/平松剛法律事務所/藤崎富士フィルムグラフィックソリューションズ/みちのく企業グループ/三井住友海上/三井不動産/三菱地所グループ/三菱重工機械システム/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城交通/みやぎ生協/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/河北新報社（順不同）

©後援/宮城県、福島県、仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、名取市、大熊町、富岡町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

企画・制作



営業局（今できることプロジェクト事務局）

【お問い合わせ】

今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部）

tel 022-211-1318